

日本学校ソーシャルワーク学会第3回全国大会(福岡)
テーマ「学校・家庭・地域の協働と学校ソーシャルワーク」

期 日：2008年7月5日(土)・6日(日)

会 場：西南学院大学・チャペル／西南コミュニティーセンター（福岡市）

< 安部 計彦(西南学院大学)大会委員長・挨拶 >

第3回目を迎える日本学校ソーシャルワーク学会を西南学院大学で開催させていただくことになりました。

ご承知のとおり、本年度より文部科学省の調査研究事業としてスクールソーシャルワーカーの派遣が全国で始まりまし
た。学会としてはこのような展開を歓迎すると同時に、学校に山積みするさまざまな課題に対してソーシャルワーカーとして
何ができるのか、課題が突き付けられています。そのため今回の学会では、記念講演として、文部科学省のスクールソ
シャルワーカー活用事業の動向、韓国の活動状況をお聞きすると同時に、先駆的な研究発表や情報交換を予定していま
す。また学会開始前に、入門講座として基礎研修会も企画しています。ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

< 後 援 >

文部科学省(申請中)、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、福岡県社会福祉士会、福岡県精神保健福祉士協会
西南学院大学、福岡県立大学、福岡県立大学不登校・ひきこもりサポートセンター

<基礎研究及び大会プログラム>

第1日目 7月5日(土)：西南学院大学・チャペル／西南コミュニティーセンター・ホール

- 10:00～ 基礎研修受講受付(西南コミュニティーセンター・ホール)
- 10:30～12:00 学会企画：学校ソーシャルワーク基礎研修
テーマ「学校ソーシャルワークによる支援」：講師・野田 正人(立命館大学)
- 12:30～ 大会受付(チャペル)
- 13:00～13:10 安部 計彦(西南学院大学)・大会委員長あいさつ
- 13:10～14:30 特別基調講演：「韓国におけるスクールソーシャルワーカー活動とその課題」
パク・キョンヒョン(Park, Kyung Hyun)(韓国スクールソーシャルワーカー協会会長)
- 14:40～15:30 文部科学省基調講演：「スクールソーシャルワーカー活用事業の動向」
岡本 泰弘(文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導第一係長)
- 15:45～17:30 学会シンポジウム「学校・家庭・地域の協働と学校ソーシャルワーク」
コーディネーター：門田 光司(福岡県立大学)
「小学校における学校ソーシャルワーク支援」
渡邊 安朗(北九州市立今町小学校校長)
「中学校における学校ソーシャルワーク支援」
平池 秀幹(北九州市立城南中学校校長)
「教育委員会における学校ソーシャルワーク支援」
竹田 賢治(苅田町教育委員会学校教育課指導係係長)
「学校・家庭・地域の協働と学校ソーシャルワーク」
奥村 賢一(福岡市教育委員会スクールソーシャルワーカー)
- 17:40 総会
- 18:30～ 懇親会

第2日目 7月6日(日)：西南学院大学・西南コミュニティーセンター

9:00～ 大会受付

9:30～12:10 自由研究発表

[会場 : ホール]

9:30 「学校ソーシャルワーク実践におけるケースマネジメントの有効性について—ストレングスの視点を基盤にして—」

奥村賢一(福岡市教育委員会スクールソーシャルワーカー)

10:10 「配置校型スクールソーシャルワーカーの強みと課題～虐待的養育環境にある子どもに対するスクールソーシャルワーク～」西野 緑(関西学院大学大学院博士後期課程/大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー)

10:50 「親と学校間のスクールソーシャルワーク仲介モデル—事例への適用の実際—」

大塚美和子(大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー)

11:30 「特別支援教育と学校ソーシャルワーク—特別支援学校における地域所属の視点に立った支援と連携の実際—」
後藤宏(福岡県立筑後養護学校)

[会場 : プロジェクトルーム]

9:30 「不登校・ひきこもりサポートセンターがSSWの援助実践に対して果たす役割と課題」

原田直樹(福岡県立大学附属研究所不登校・ひきこもりサポートセンター)

10:10 「スクールソーシャルワーカーが実践する校内精神保健活動の一考察」

大西良(久留米大学)

10:50 「子どもの人権救済活動の実践から見た学校ソーシャルワーク論の課題—兵庫県川西市の取組をふまえて」

住友剛(京都精華大学)

[会場 : 会議室]

9:30 「アメリカの学校現場における福祉職の職務の実際—アメリカ西部と東部の4州を、横断しながら見聞きしたこと—」

大沼洋子(宮城県仙台商業高校)

10:10 「現場で活躍できるスクールソーシャルワーカーの養成—人材に求められる素養、知識、技術と、人材育成に関する課題—」

工藤歩(関西福祉大学)

10:50 「学校ソーシャルワーカーの資格認定に関する一考察」

大門俊樹(東京福祉大学)・栗原拓也(健康科学大学)

[会場 : 多目的室]

9:30 「義務教育体制成立以降の日本における子どもの教育権保障・社会的公正の実現をめざした実践と理論に関する史的研究の必要性について」

渡邊充佳(大阪市立大学大学院)

10:10 「高校生における自己受容による学校生活向上の効果—学校生活スキルを媒介としたモデルの検討—」

米川和雄(NPO 法人エンパワーメント/久留米大学大学院)

10:50 「日本の学校現場における「ゼロトレランス方式」に関する考察」

中西 真(立命館大学大学院)

12:00～13:00 昼食

会議室：大学院生の交流会

プロジェクトルーム：スクールソーシャルワーカーの集い

[会場 : ホール]

13:00～14:30 福岡県・熊本県・鹿児島県でのスクールソーシャルワーカー活用事業の動向とその課題」

1. 福岡県の取り組み：門田光司(福岡県スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー, 福岡県立大学)

2. 熊本県の取り組み：岩永 靖(熊本県宇城教育事務所スクールソーシャルワーカー, 九州ルーテル学院大学)

岩井 佑美(熊本県鹿本教育事務所スクールソーシャルワーカー, 向陽台病院)

3. 鹿児島県の取り組み：岩井浩英(鹿児島国際大学)

[会場 : ホール]

14:40～16:10 自主シンポ：「学校のニーズと実態、そしてSSW活動～SSWに関する実証研究報告(科研)」

コーディネイター：山野則子(大阪府立大学)

シンポジスト：野尻紀恵(神戸常盤大学短期大学部)・金澤ますみ(大阪府SSWr)・下田かおり(学校支援員)

コメンテーター：野田正人(立命館大学)

16:20 閉会

<基礎研究及び大会参加申込>

※「基礎研修」「大会参加」は事前の申込（6月20日まで）及び事前の支払いをお願いします。

1. 基礎研修受講費

(1) 会員・非会員・院生・学生：1000円

2. 大会参加費

(1) 会員・非会員：4000円（一日のみ2000円）

(2) 院生・学生：2000円（一日のみ1000円）

3. 基礎研修受講費及び大会参加費払込口座番号>

口座番号：01700-9-67117（郵便局）

口座名称：日本学校ソーシャルワーク学会第3回大会

※郵便局取扱票の備考欄に入金内容、氏名、住所、所属を記載し、上記の口座番号に振り込んでください。

<自由研究発表者の方へ>

(1) 自由研究発表時間は、40分（発表25分・質疑15分）となります。今回、予定会場と自由研究発表数の関係より、当初予定していました50分の発表時間を短縮させていただきます。ご協力の程、お願い致します。

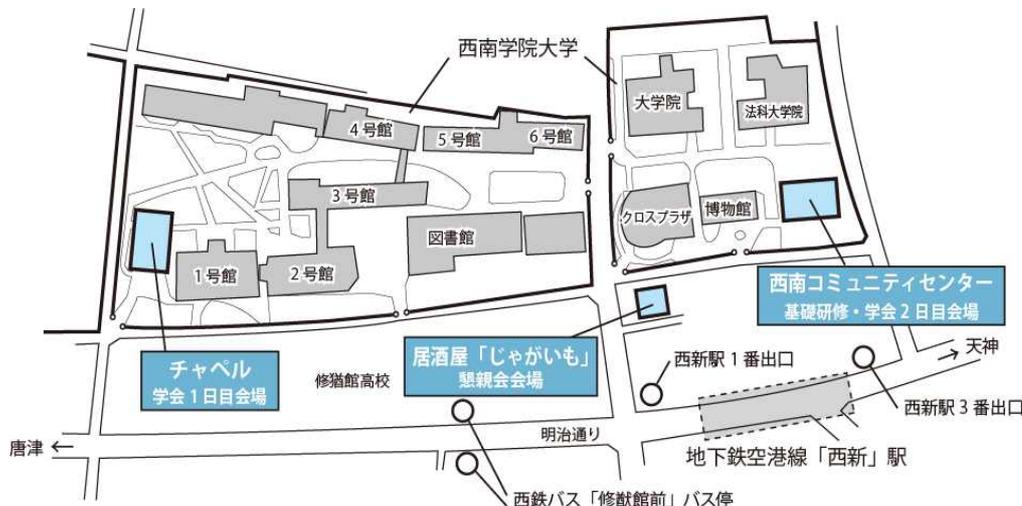
(2) 情報機器はパソコン（パワーポイント）のみ使用可能です（OHP等は使用できません）。ノート型パソコンを各会場にご用意致します。パソコンのOSはWindowsのビスタです。マッキントッシュは対応できません。各会場の発表者でパワーポイントを使用する方は、午前9時15分までにはパソコンにデータ保存願います。

(3) 各自、補足資料は50部持参願います。

<大会会場>

西南学院大学・西南コミュニティーセンターになります。詳しくは西南学院大学ホームページ(<http://www.seinan-gu.ac.jp/>)をご参照ください。

※基礎研修会場、7月5日の大会1日目、7月6日の大会2日目の会場は異なりますので、ご注意下さい。



<地下鉄> ○福岡空港～西新駅下車・・・約17分 ○博多駅～西新駅下車・・・約12分 地下鉄西新駅から徒歩5分

<宿泊等>

(1) 宿泊の手配は大会事務局としては行いませんので、各自で手配頂きますようお願い致します。

<昼食>

お弁当などの注文は受付けておりません。各自で準備をお願いします。なお、5日（土）のみ、学内のクロスプラザが利用できます。

<大会事務局及び問い合わせ>

福岡県立大学不登校・ひきこもりサポートセンター

〒825-85858 福岡県田川市伊田 4395 番地

問い合わせはFAX又はメールでお願いします：FAX/0947-42-1454

[E-mail/kadota@fukuoka-pu.ac.jp](mailto:kadota@fukuoka-pu.ac.jp)